



第4回東北大学脳科学グローバルCOE キャリアパスセミナーの

お知らせ

キャリアパスセミナーでは、主に、生命科学で専門教育(主に修士以上)を修められた上で、アカデミックとは異なるキャリアを積まれた方を中心にお招きして、御経験をもとに、キャリア形成について語って頂きます。第4回は、サイエンス・イラストレーターという特徴あるキャリアを積まれている講師の方をお招きします。

日時 2009年2月6日(金)16:30～18:00
会場 星陵キャンパス・5号館2階201 セミナー室
演者 ^{きくたに} 菊谷 ^{うたこ} 詩子 先生
(サイエンス・イラストレーター)

演題 「科学を描く～サイエンス・イラストレーターの仕事」

講演概要

みなさんが子供の頃に目にした図鑑や、教科書から科学雑誌や専門書まで、中に載っている図やイラストを誰が描いているか、考えたことはありますか？その多くはサイエンス・イラストレーターによって描かれています。難しい研究結果を一般の人にも分かり易く伝えることが強く求められる昨今、専門知識を持ったイラストレーターの重要性は増えています。

今回、サイエンス・イラストレーションとはどういうものかという所から始め、演者が博士課程を中退して、この道に飛び込んだ私的な経験談を交え、日本とアメリカにおける現状の比較と、将来の可能性についてお話したいと思います。

演者略歴

子供時代を東アフリカのケニアとタンザニアで過ごしたことをきっかけに、生き物に興味を持つ。

東京大学理学部生物科学科卒業後、同大学院に進学するも博士課程2年次に中退。1996年にカルフォルニア大学サンタクルーズ校のサイエンスコミュニケーション学科、サイエンス・イラストレーションプログラムに留学し、アメリカ自然史博物館(ニューヨーク)でのインターンを経て、フリーランスイラストレーターに。2001年から活動拠点をアメリカから日本に移し現在に至る。主な仕事に、「恐竜博2005」の復元画、JT生命誌研究館の「生命の階段」などがある。2002年ボローニャ国際絵本原画展(ノンフィクション部門)入選。

聴講は、脳科学グローバルCOE関係者に限らず、どなたでも歓迎します。

連絡先:脳科学GCOE事務局(長神風二)内線7908